

## 小笠原諸島父島における地生態系区分による環境区分の試み

(財) 日本自然保護協会 辻村千尋

小笠原諸島は、環境省や林野庁などの行政や研究機関による様々な調査研究活動や生物多様性復元の事業が実施されているが、依然として危機的な状況を脱するには至っていない。これは、小笠原の生態系を総合科学的に捉える方法論がまだ確立しておらず、基盤環境とその上に成立する生物相との関係などが不明確なまま、個々の種に対する対処療法的視点の研究や施策を行わざるをえないことが多いため、根本的な対策を打つためには、基礎的資料の再整理やそれらの総合的な解釈が必要である。

そこで本研究では、小笠原諸島の生態系を総合科学的に捉えるために、まず小笠原の基盤環境やその上の生態系に関する情報の整理と吟味を行い、環境類型区分「ジオエコタイプ (GET) 区分」を行った。この図は、今後、希少種等の分布情報や法規制など社会経済的条件などとともに希少種の生息地の適地評価を行うなど、希少種の効果的効率的な生息環境の戦略的な保全を行うためのベース情報図として活用することが求められる。